

令和2年9月8日

報道機関 各位

ソーシャル・キャピタルと妊婦さんの心とからだの 健康状態との関連について（エコチル調査より）

富山大学学術研究部社会科学系 両角 良子教授とエコチル調査富山ユニットセンター 松村 健太 特命助教らのグループは、妊婦の妊娠期間中の健康状態について、ソーシャル・キャピタル（社会関連資本）が豊かであると特に精神面で健康状態が良好になることを明らかにしました。

ソーシャル・キャピタルとは、社会や地域における人と人との結びつきや信頼関係などを表す概念で、健康に影響を与える要素として注目されてきました。しかし、妊娠中のお母さんの心やからだの健康状態に及ぼす影響については十分な知見は得られていませんでした。

この度の研究結果は、約8万人の妊婦のソーシャル・キャピタルを測定し健康感との関連を調べた画期的な内容です。

この研究成果は医学系専門誌「BMC Pregnancy and Childbirth」に2020年8月6日付で、オンライン掲載されました。

[Morozumi R, et al. Impact of individual and neighborhood social capital on the physical and mental health of pregnant women: the Japan Environment and Children's Study \(JECS\). BMC Pregnancy and Childbirth \(2020\) 20:450](#)

※本研究は環境省の「子どもの健康と環境に関する全国調査」に係る予算を使用し行いました。論文に示した見解は著者自らのものであり、環境省の見解ではありません。



研究の内容

人との交流やコミュニティの絆は、ソーシャル・キャピタルと呼ばれ、健康に影響を与える要素として注目されてきました。日本ではここ数十年、核家族化・地方の過疎化・都市部の人口密度の上昇などにより、世代間の交流やコミュニティの絆が弱まっていると考えられています。妊娠中は、体調の変化も大きく、多くの人の手助けを必要とする時期です。妊娠期間にソーシャル・キャピタルが乏しいと、お母さんの心とからだの健康に悪影響を与える可能性があります。これまで十分な研究は行われてきませんでした。

そこで今回、「子どもの健康と環境に関する全国調査」(エコチル調査)に参加する約8万人のお母さんの回答をもとに、ソーシャル・キャピタルが妊娠中の心とからだの健康状態に与える影響について検証しました。

ソーシャル・キャピタルは、

- ・個人のソーシャル・キャピタル …個人の社会的ネットワークによって具現化される資源
- ・近隣地域のソーシャル・キャピタル …社会的結束によって形成される資源

(例えばコミュニティ内での信頼のストックや相互関係など)

の程度を質問票の回答から評価しました。

妊娠中の心とからだの健康状態は、本人が感じる「健康状態」を測定する質問票「健康関連 QOL 尺度 (SF-8)」の回答から算出される心の健康感とからだの健康感の各スコアを使用しました。

その結果、心の健康感のスコアは、ソーシャル・キャピタルが最も高い群では、最も低い群と比較して個人のソーシャル・キャピタルで約 4.4 点、近隣地域のソーシャル・キャピタルで約 1.6 点高い値となりました。一方、からだの健康感のスコアは、個人のソーシャル・キャピタル、近隣地域のソーシャル・キャピタルともわずかな差しかありませんでした。このことから、ソーシャル・キャピタル、特に、個人のソーシャル・キャピタルは妊娠中の心の健康感と関連することがわかりました。

以上から、ソーシャル・キャピタルが豊かになると妊婦のメンタルヘルスが改善されることが示されました。したがって、ソーシャル・キャピタルを高める取り組みをすることで、妊娠中の心の健康感を維持できる可能性が示唆されました。

しかしながら、本研究では友人や地域社会の特徴など、ソーシャル・キャピタルに関連する詳細な情報は得られていません。また、友人や地域社会の有効性・実質的な機能について明らかにするためのネットワーク分析(本人の人間関係・社会とのかかわり方)も行っていないため、今後の研究ではこうした詳細な点に注目することが必要と考えられます。

この研究成果は医学系専門誌「BMC Pregnancy and Childbirth」に2020年8月6日付で、オンライン掲載されました。

ちょっと詳しく

ソーシャル・キャピタルって？

親しい人からの感情的・情動的サポート、地域や社会における人々の結びつき、人に対する信頼感、互酬性(ギブアンドテイク)の規範の総体を示す概念で、日本語では「社会関連資本」と呼ばれます。例えば、使用したソーシャル・キャピタルの質問項目には、「気軽に相談ができる人数」、「近隣でお互いに助け合っていますか」など6つの項目があり、相談できる人数が多い人や、近隣住人が互いに助け合っていると感じている人はソーシャル・キャピタルが高いと判定します。

健康関連 QOL とは？

健康関連 QOL とは、個人が主観的に評価する自身の健康状態（＝健康感）のことであり、生活の質（QOL: quality of life）に大きく影響を与える要因の1つです。本研究で用いた SF-8 は、この「健康感」を測定するための質問票です。「心」と「からだ」それぞれ4つずつから成る計8つの質問に対し、「最高に良い/とても良い/良い/あまり良くない/良くない/全然良くない」といった5つないしは6つの選択肢から自分の状態を回答し、回答から「心」と「からだ」それぞれの得点を算出します。健康だと感じている人は高い得点になります。

【「子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）」とは】

子どもの健康や成長に影響を与える環境要因を明らかにし、「子どもたちが安心して健やかに育つ環境をつくる」ことを目的に2010年度に開始された大規模かつ長期に渡る疫学調査です。妊娠期の母親の体内にいる胎児期から出生後の子どもが13歳になるまでの健康状態や生活習慣を2032年度まで追跡して調べることをしています。

エコチル調査の実施は、国立環境研究所に研究の中心機関としてコアセンターを設置し、国立成育医療研究センターに医療面からサポートを受けるためにメディカルサポートセンターを設置し、また、日本の各地域で調査を行うために公募で選定された15の大学に地域の調査の拠点となるユニットセンターを設置し、環境省と共に各関係機関が協働して行っています。

富山大学は、富山市、滑川市、魚津市、黒部市、入善町、朝日町を調査地区とする「富山ユニットセンター」として本調査に参加しています。

- 環境省「子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）」WEB サイト
<http://www.env.go.jp/chemi/ceh/index.html>
- 富山大学 エコチル調査WEB サイト
<http://www.med.u-toyama.ac.jp/eco-tuc/>



(本件に関するお問い合わせ)

国立大学法人富山大学 エコチル調査富山ユニットセンター
担当 松村 健太

TEL : 076-434-7277

Fax : 076-434-5023

E-mail : kmatsumu@med.u-toyama.ac.jp

(取材対応窓口、詳細の資料請求など)

国立大学法人富山大学 総務部総務・広報課

TEL : 076-445-6028

Fax : 076-445-6063

E-mail : kouhou@u-toyama.ac.jp